

## 7. 商業活性化賑わい創出事業

☞ 空き店舗等を活用した新たな交流拠点の検討

【留萌市商店街振興組合連合会】

### 地域の状況

#### ■ 地域の概要

留萌市は、振興局管内最大の都市で、官公庁や民間の出先機関も多くあり、水産加工業を中心に地場産業が盛んでしたが、近年における社会環境の変革に伴って、出先機関の縮小や公共事業削減による建設業の縮小などが続き、商圈人口は減少の一途を辿っています。

#### ■ これまでの問題点

商圈人口の減少に加えて、大型商業施設の郊外進出や高規格道路の延伸によって、旭川・札幌圏へのアクセスが容易になったことから消費の流出が続いています。

また、経営者の高齢化や後継者不足などから、個店の店舗への投資意欲も薄れ、商品構成の脆弱化や空き店舗増加による商店街の店舗構成の偏り、さらには、商店街にあった大型店が撤退したことによって、買い物の途中で休憩できる場所が少なくなるなど、消費者の商店街離れが進んでいます。

商店街の役割として、住民の生活に必要な商品の販売やサービスの提供のほか、多くの住民が集う交流の場やサークル活動の場として、コミュニティ機能の核となる役割を担うことが地域の住民から強く求められており、地域のさまざまな関係者と連携を図りながら課題を解決していくことが必要となりました。



るもいプラザ

#### ■ これまでの取組

市内5つの商店街と連携し、共通商品券の発行など商店街の活性化に取り組むとともに、留萌市、商工会議所などと連携して商店街にあった大型店の跡地に「るもいプラザ まちなか賑わい広場」を開設、管理運営にあたるなど、関係団体や行政機関との連携のもと、まちの賑わいづくりを行ってきました。

### 事業内容

#### ■ 本事業での取組

25年度以降における「るもいプラザ」の運営費の確保が困難であったことから、新たな交流拠点が必要との認識のもと、空き店舗を改装したチャレンジショップ事業やアンテナショップ事業、まちなかコンシェルジュ事業などの展開に向けた基礎データを収集するため、通行量調査や各商店を対象とした商業調査、住民を対象としたニーズ調査を実施しました。各種調査の結果から、空き店舗を活用した不足業種の補充や農作物の朝市などのチャレンジショップ、休憩や軽食のとれるコミュニティ食堂の事業化が必要との結論に達しました。

#### ■ 取組の中で生じた課題

通行量調査や市民アンケートなどの結果を商店街の活性化に結び付けていくことが必要ですが、調査結果を分析し、計画を立案する専門的な知見を有する人材が連合会にはいませんでした。

#### ■ 取組に関する課題への対応

調査結果を見ていただき、今後の新しい事業計画についてアドバイスをいただくため、専門家（中小企業診断士）の協力を仰ぐこととしました。

専門家からは、「調査分析結果をもとに地域住民の定量的・定性的ニーズを把握して計画に反映すること。留萌市の特性に合わせた

計画にすること。先進事例は「まねる」のではなく、「学ぶ」ことが重要。また、商店街が勝手に計画するのではなく、行政と一体となった計画内容にすることが重要」とのアドバイスをいただきました。



賑わいの創出に向けた取組の検討

#### ■ 地域の関係者との連携体制（メンバー）

本連合会は、市内5つの商店街で構成されており、事業実施にあたっては、各商店街と連携を図りながら、アンケート調査などに取り組みました。

#### ■ 連携体制を構築する上で生じた課題

5つの商店街は、総延長が1.5kmのまちなみの中にあり、各々、業種構成や購買客層に違いがあることや、従業員数の減少や後継者不足などの要因から将来的な投資意欲のある商店街が少なくなったことなどにより商店街活動への参加も難しい商店が数多くあり、新たな事業展開をすることは難しくなっています。

#### ■ 連携体制に関する課題への対応

商店街振興組合連合会が中心となり、様々な勉強会や講習会の実施のほか、シャッターアートの導入、大型ベンチや縁台の設置など商店街を訪れる人々の休息設備の設置、さらには、個々の商店街では行うこ

とが難しくなったまちなかでの交流事業やスタンプラリーなどの商店街回遊事業を関係機関の援助やアドバイスを受けながら行っています。

### 今後の取組

当初、「るもいプラザ」に代わるまちなかの交流拠点が必要との認識から平成25年度に新しい拠点をまちなかに備えて、既存のアンテナショップやまちなかコンシェルジュ等を設置すべく、ニーズ調査等の実施や専門家のアドバイスを受けながら「チャレンジショップ」や「コミュニティ食堂」の開設という方向性を確認することができました。

しかしながら、存続が危ぶまれていた「るもいプラザ」の25年度存続が決定し、2ヶ所の交流拠点の運営は経営的に困難であることから、新たな拠点の整備は引き続き、具体的な設置場所や運営方法について検討を重ね、本事業で計画したチャレンジショップやコミュニティ食堂の開設について、国の補助事業の活用も含めて、計画の具体化を進めていくこととしたところです。



るもいプラザでのハロウィンの催し

留萌市商店街振興組合連合会

【所在地】 〒077-0044 留萌市錦町3丁目1-5

【代表者名】 理事長 土田 悦也

【連絡先】 TEL 0164-43-5911 FAX 0164-43-5916

【E-mail】 rumoipulaza@gmail.com